

## 次世代ワクチン研究 2015年より本格始動

～BIKEN 次世代ワクチン開発研究センター プロジェクトリーダー決定～

- 
1. プロジェクトリーダー決定を受け、センターの2015年本格稼働が決定
  2. 英科学誌 Nature に BIKEN 次世代ワクチン開発研究センター及びプロジェクトリーダーにかかる記事掲載
- 

一般財団法人阪大微生物病研究会（以下、「BIKEN」）は、本年5月12日より公募をしておりました、BIKEN 次世代ワクチン開発研究センター（以下、「当センター」）のプロジェクトリーダー（以下、「リーダー」）を選考決定いたしました。対象者は下記の3名です。

また、BIKENに関する記事が10月2日（木）発行の英科学雑誌 Nature において掲載されますが、その中で各リーダーについても紹介されます。

今後、当センターは2015年の本格稼働に向けた施設整備を行ってまいります。



▲当センターが入所する最先端感染症研究棟  
（大阪大学吹田キャンパス内）

<プロジェクトリーダー> (1) 氏名、(2) 研究テーマ

(1)	青枝 大貴（アオシ タイキ）
(2)	「次世代ワクチンのための抗原、細胞標的、アジュバントの探索」

(1)	佐藤 慎太郎（サトウ シンタロウ）
(2)	「高齢者経粘膜ワクチンの開発に向けた基礎研究：粘膜ワクチンとアジュバントスクリーニング用ヒト腸管上皮細胞層と人工パイエル板の構築」

(1)	吉岡 靖雄（ヨシオカ ヤスオ）
(2)	「ワクチンリスクを克服し得る経鼻粘膜ワクチンの新規開発」

## News Release

### BIKEN 次世代ワクチン開発研究センターについて

#### <センター開設の背景>

我が国を含め世界は高齢化社会を迎えているとともに、グローバル化しています。このような中であって、未だ予防方法も治療方法もない疾患が世界には多く存在しており、感染症はもとより癌やアレルギーに対してより有効で安全な予防・治療用ワクチンの開発が求められています。

これを受け、BIKEN は設立 80 周年を契機に、ワクチン開発をより一層発展させ、ワクチンを通じて世界の人々の健康にさらに貢献するため、BIKEN 次世代ワクチン開発研究センターを開設しました。自由な発想からの、独創的かつ革新的な、主に感染症を対象とした「次世代ワクチン」の開発を行います。

#### <センター長>

山西 弘一（一般財団法人阪大微生物病研究会 理事長）

### 一般財団法人阪大微生物病研究会について

#### <目的>

微生物病等の予防、治療に関する研究・調査およびワクチン等の供給、併せてその学術研究の助成と奨励を行い、公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

#### <設立>

1934年(昭和9年)6月6日

#### <主な製品>

乾燥弱毒生水痘ワクチン、インフルエンザ HA ワクチン、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン、沈降精製百日せきジフテリア破傷風ポリオ混合ワクチン (DPT-IPV)、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン等

#### <ホームページ>

<http://www.biken.or.jp>

以上

### 本件に関するお問い合わせ先

(一財) 阪大微生物病研究会 広報担当 磯野

TEL:0875-25-4175

e-mail:hisono@mail.biken.or.jp